

2025 年度 事業計画書

自 2025 年 4 月 1 日

至 2026 年 3 月 31 日

公益財団法人 鉄道弘済会

基本方針

2025年度の事業計画においては、「弘済（広く救う）」という設立の理念のもとに策定された中期経営計画（5箇年）の3年目として、利用者一人ひとりに寄り添った福祉の充実のため、各箇所の状況に応じた取り組みを実施するとともに、引き続き、人材の育成・確保・定着や職場環境の改善・組織風土の醸成、財政基盤の確立などといった基盤の整備に取り組みます。

公益目的事業については、利用者の「より良い」姿を思い描きながら、社会・地域のニーズや国の動向を捉え、今後も信頼される質の高い福祉サービスを提供するとともに、日々の業務においては、それぞれの専門的な知見も取り込みながら、不断の努力により福祉の質の向上に取り組みます。

また、収益事業については、麹町弘済ビルディングの入居者獲得に引き続き注力していくほか、新規開発を進めるとともに、所有物件の有効活用と資産価値維持に取り組むことで収益の最大化を図り、将来の安定的な財源確保に取り組みます。

さらに法人運営については、様々な意見等を尊重しつつ、それぞれの立場をこえて話し合う組織風土の醸成に取り組むほか、従業員の意見も参考に心身の健康やワーク・ライフ・バランスにも配慮した「働きやすい職場づくり」に取り組むとともに、コンプライアンスをはじめとした従業員の意識向上や内部統制の強化を通じ、自主的・自律的に透明性の向上に取り組みます。

1 公益目的事業

公1 障害者の自立・更生、児童又は青少年の健全な育成及び社会福祉に関する知識・技術の向上に係る福祉支援事業

(1) 障害者に係る福祉支援事業

① 補装具製作及び更生相談に応ずる施設並びに診療所の設置・運営【義肢装具サポートセンター】

利用者のニーズに応えることができる人材を育成するとともに、切断障害者の早期社会復帰と自立促進のための必要な訓練を行い、製作技術の向上や診療部門の充実を目指します。

また、切断障害者等の「生活の質の向上」のため、新技術の導入や研究開発に取り組むとともに、障害者スポーツへの支援や地域社会に貢献することで、安定的で持続的な事業運営を目指します。

② 身体障害者福祉の増進に寄与するための事業【鉄道身障者福祉協会への支援】 社会福祉法人鉄道身障者福祉協会の福祉活動を支援します。

③ 知的障害・自閉症児者施設の設置・運営【総合福祉センター「弘済学園」】

知的障害・自閉症児者を対象として、利用者の円満な人格形成と能力内自立を目指し、ライフステージに沿った一貫した療育・支援に取り組みます。

また、児童期中心の入所施設部門と幼年期・青年期も含めた地域生活支援部門を両軸に、多様なニーズに対応するとともに、これらのニーズに対応できる人材の確保・育成に取り組みます。

このほか、人権擁護を徹底するほか、「弘済学園の目指す方向」を踏まえた諸課題の整理と解決に取り組むとともに、現在の建物を有効活用するために必要な改修を進めます。

④ 知的障害者福祉の増進に寄与するための事業

ライフステージ悠トピア・くず葉学園との連携に取り組みます。

⑤ 視覚障害者福祉に携わる者の顕彰

録音図書の新なる普及とボランティア活動の啓発を図るため、顕彰行事「朗読録音奉仕者感謝の集い」を引き続き実施します。

⑥ 視覚障害者福祉の増進に寄与するための事業

社会福祉法人日本視覚障害者団体連合、社会福祉法人日本点字図書館の福祉活動を支援します。

(2) 児童又は青少年の健全な育成に係る福祉支援事業

① 子育て家庭の支援事業【保育所・認定こども園】

保育理念の実現に向け、子どもの主体性を尊重する保育の充実や語り合う職場風土の醸成などに取り組み、保育の質の向上を図ります。

地域において多様化するニーズを把握し、子育て支援事業等を実施することで、地域と共生する園づくりを目指すとともに、各園における保育方針・目標・特色を踏まえ、持続的・発展的に園を担うことができる人づくりに努めます。

② 児童養護施設の設置・運営【札幌南藻園】

家庭での養育が困難な子どもたちを受け入れ、家庭的な雰囲気の中で養育するとともに、自立支援に向け、生活指導や就職支援などのリービングケアのほか、退園後のアフターケアにも取り組みます。

これらの家庭的養育、リービングケア・アフターケアの充実に向け、若手職員の育成と定着、リーダー層の資質の向上を図るとともに、本体施設に配置された多職種の専門職員との連携により高機能化を進めます。

また、「なんそうえん子ども家庭支援センター」による地域支援の充実を図ります。

(3) 社会福祉に関する知識・技術の向上に係る福祉支援事業

① 「社会福祉セミナー」の企画・開催

社会福祉の潮流を踏まえ、実践と研究の両面から社会福祉に関する知識、技術の向上を図ることを目的に「社会福祉セミナー」を年1回開催し、社会福祉の発展の寄与に努めます。

② 研究誌『社会福祉研究』の企画・発行

社会福祉に関する実践と研究をつなぐ専門誌として『社会福祉研究』を継続して発行し、得られた研究成果が広く社会福祉に活用されるよう努めます。

③ 福祉資料室の運営

福祉資料室は、社会福祉の専門的な情報センターとして、福祉分野の図書等を蔵書し、広く学生、研究者、一般の利用に供します。

公2 高齢による要介護者への福祉支援事業

(1) 高齢者に係る福祉支援事業

社会福祉法人東京弘済園が運営する各種高齢者福祉事業について連携を図り、介護の質の向上と安定的な経営基盤の確立のために必要な支援を行うとともに、建替えを含めた中長期計画についても共同で策定していきます。

2 収益事業等

収 1 不動産賃貸事業・管理業等

(1) 収益最大化のための開発の推進及び検討

「公益事業の一層の発展」に資するため、「麴町弘済ビルディング」の入居者獲得について引き続き注力するとともに、着実な開発を推進します。

また、駐車場用地・老朽化建物についても、更なる有効活用に向け、新たな開発の検討・協議を進めることにより収益の最大化に取り組みます。

(2) 物件の資産価値維持及び管理体制の強化

安定的な収入確保のため、既存の賃貸物件における長期空室を抑制する改修や計画的な修繕を実施します。

また、今後の開発計画の推進や物件管理体制の強化のため、開発・管理運営の担当者として自ら考えて実行できる人材の育成を行います。

他 1 奨学金事業

社会福祉を学ぶ者の支援、児童養護施設の在園児及び退園者の支援といった視点から引き続き奨学金事業の推進を図ります。

3 法人運営

(1) 中期経営計画を踏まえた取り組み

「利用者にとってより良い福祉を実現する」という中期経営計画の内容もふまえ、様々な意見や考え方を尊重しつつ、それぞれの立場をこえて話し合う組織風土とするため、本法人の知見を結集し、一体となって必要な内容に取り組みます。

(2) 人材の確保・育成・定着に向けた取り組み

優秀な人材を早期に確保するため、OJTによる人材育成やそれぞれの業務に応じた専門的な研修による知識・能力の向上に取り組みます。

(3) 働きやすい職場環境の整備に向けた取り組み

より働きやすい職場環境とするため、心身の健康やワーク・ライフ・バランスに配慮した取り組みを実施するほか、必要な機器やシステムなどの導入を通じて利便性の向上に取り組みます。

(4) 安定的な財政基盤の確立に向けた取り組み

質の高い公益目的事業を積極的に幅広く展開するため、柔軟な予算運用や着実な開発工事により「収益事業における安定的な収入確保」に取り組むとともに、リスクを抑えつつ、リターン向上を目指す資産運用を通じて、安定的な財政基盤の確立を目指します。

また、精緻な予算設備投資計画と資金計画に基づいて、施設及び設備の改修、業務効率化を狙ったICT化や制度改正などに積極的に取り組み、資金を確実に手当てすべく、資産の取得・処分を適切に判断し、経営の効率性を向上させるなど、必要な対応に取り組みます。

(5) 持続的・発展的な福祉の実現を支える取り組み

社会からより信頼され、時代の要請に応えられる法人となるため、認知度・知名度の向上を図るとともに、コンプライアンスなどの従業員の意識向上や内部統制の強化に取り組みます。

また、環境保全や災害対策において、必要な内容にも取り組みます。